

がんばろう 南三陸町 復興第77号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所
千葉総合印刷株式会社
本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068
企画・編集
志津川広報センター



第4回宮城県有識者セミナー2018

南三陸町に石巻からボランティアに来ていらっしゃる方から案内をもらい、11月23日に矢本東市民センターで開催されたセミナー「結婚・家庭の再生が日本を救う4」に参加した。

講師は小笠原真利氏で、NPO活動などを通して青少年を対象とした教育事業に携わっている。今回の第4弾は「家庭ビジョン」として、LGBT「人権」運動にひそむ問題点について講話を聞いた。

現在の男女の性は、「男」「女」だけでなく同性婚合法化や、多様な性に対する教育の必要性を話していた。

小笠原氏は、結婚は男女が基本であり、「義務と責任」は家庭をつくる事、そして子供をつくる事と語る。

「恋愛」「結婚」は同じではない。結婚は子供の福祉と社会の安定のための制度であり、●貞操・相互援助(義務)、●長期的安定した夫婦・親子関係をつくる(目的)、●相続・税の優遇がある。反して「恋



愛・同棲」は個人の私的な結びつきである。●結ばれるも別れるも自由、干渉されない・特別な行政上の保護・優遇もない。

大人が一人の家庭は、●子供の貧困率が50%以上、●ひとり親・再婚・事実婚家庭では虐待発生率が約4倍(米国)●2017年、厚生労働省は親元で暮らせない子供の社会的養護を施設中心から、里親中心に転換、とし「多様な家庭」で混乱、苦しむのは子供!と語る。

結婚カウンセラーの話に、男女の違い(男らしさ、女らしさ)を教えないことで、逆に夫婦関係が難しくなっている。男性の特性、女性の特性をお互いによく理解することで、関係が円滑になり互いに補い合う調和な関係が生まれる、と述べている。

来年度から南三陸町では「結婚活動」の事業を本格的に推進する。町づくりには欠かせない部分で、宮城県の産業や経済にも人口の減少は大きな問題となっている。3年連続で県人口がマイナスとなり、昨年より「0.38%」の人口減少となった。その中で南三陸町は8番目(-1.76%)で、1番は七ヶ宿町の3.83%だった。増加の自治体は大衡村の1.4%増で、2番目に仙台市の0.21%だった。

非婚化・晩婚化の進む現状は、日本の人口減少・少子高齢化社会は決して看過できないと小笠原先生は話していた。

南三陸町では来年10月から 家庭ごみの有料化を見込む

10月4日(木)午後7時から、沼田ふれあいセンターで家庭ごみ有料化住民説明会を開催した。南三陸町環境対策課では、町内52地区で1271名の住民が集まり、出席率は26.7%だと話した。

震災以後のごみの発生は、復興・再建などの要因から増加傾向にあり、ごみ処理費用が年々増加している。また、平成27年10月から実施している生ごみ収集量は、見込んだ計画量の4分の1にとどまっている。

町はごみの減少化やリサイクルの推進に取り組んでいるが、ごみの抑制の効果は見えない。しかし、資源ごみとして800トンで1350万円の売り払い額を得ている。

家庭ごみの有料化の導入は、ごみ発生の抑制や処理経費の削減など、町民にごみの減量に対する意識の向上を図ることを目的としている。

(次回に続く)

南三陸町のゴミ処理の現状 (南三陸町ゴミ排出量の推移)

	H23	H24	H27	H29
ゴミ排出量(t)	3,102	3,924	4,449	4,608
人口(人)	15,352	15,066	13,717	13,141
一人一日当たりのゴミ量(g)	554	714	889	961



(南三陸町ゴミ処理費用推移)

	H23	H24	H27	H29
ゴミ処理費用(千円)	102,343	113,750	221,687	306,329
人口(人)	15,352	15,066	13,717	13,141
一人当たりの処理費(円)	6,666	7,550	16,161	23,311

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

平成30年(2018年) 9月の出来事
~ 地元報道より ~

南三陸町

◆志津川高校の生徒が2日に開かれる旭ヶ浦祭の一般公開をPRしに、さんさん商店街を訪れた。人気アニメやジブリ映画のキャラクターに扮して、模擬店の出店情報などを宣伝し、来場を呼び掛けた。

南三陸町志津川の化粧品店「おしゃれ空間 Lips」を運営する佐藤由紀さんが、東京で開かれたNCCコスメティック甲子園で7位に入賞した。メイクアップの技術、顧客への提案力を競う大会。

◆南三陸町ナイター野球リーグが平成の森しおかぜ球場で、5日夜から開幕。今シーズンは7チームが参戦し11月上旬まで平日の夜に総当たり戦の試合を繰り広げる。

◆南三陸町で大正大学の学生による「東京の学生がみた南三陸展」が、町役場交流スペース「マチドマ」で開かれた。

南三陸町議会9月定例会は、8議案を原案通り可決しました。組織再編に関する条例改正案では、議員から反対討論があり、採択の結果賛成多数で可決し、10月から危機管理課を総務課に統合することが決まった。

◆6日に発生した北海道地震を受け、7日南三陸町は役場などに募金箱を設置した。

◆南三陸町議会は9月定例会で、28日議案を原案通り可決。志津川地区の土地区画整理事業について、完了が当初の2018年度末から20年度末に2年づれ込むことを明らかにした。

◆JA南三陸は2018年度産米の概算金を決めた。1等米30k当たりの金額は「ひとめぼれ」が6350円、「ササニシキ」が6400円と、ともに3年連続で上昇した。

◆南三陸町はふるさと納税返礼品の内容も含め、見直しを図ることにしている。

婚活イベント「南三陸さんさんキラキラツアー」が17日行なわれた。おおさき婚活支援センターが主催したもの。

◆南三陸町議会は2017年度決算審査特別委員会を行ない、衛生費では町は町指定ごみ袋の値上げを検討していることを明らかにした。

来場者数が100万人を突破した南三陸町の南三陸さんさん商店街で、15日~17日まで感謝イベントが開かれた。餅まき、感謝セールなどが開催された。

◆南三陸ホテル観洋で14日、語り部ガイド研修会が開かれた。南三陸町では初めて開かれ、地元・県内・青森などから観光ガイドや語り部約40人が参加した。

18日、石巻港に寄港した大型客船「ダイヤモンド・プリンセス」の乗客が南三陸町を訪れた。

◆南三陸町の名物「南三陸キラキラ秋旨丼」(秋バージョン)が、今月1日から始まった。10月31日まで町内と気仙沼市本吉町の飲食店などで提供している。

南三陸町議会9月定例会は19日閉会した。「高野会館」の保存に関する請願は不採択とすることが決定した。

◆大正大学地域創生学部の実習が19日から南三陸町内で始まった。学生28人が住民と触れ合いながら産業やコミュニティーなど各分野の課題研究に取り組む。

秋の交通安全の初日、南三陸町戸倉の国道45号沿いで戸倉小学校の児童たちが、手作りの繻細工をドライバーに配って交通安全を呼び掛けた。

◆家庭ごみの有料化を検討している南三陸町は住民対象の説明会を始めた。町は有料化の開始を1年後の2019年10月を見込んでいることを明らかにした。

◆南三陸町の8月末の人口は1万3056人で、前月比で25人減少した。8月の出生は5人、死亡は11人、転出30人、転入16人だった。

25日秋サケの刺し網が解禁され、志津川漁港には午前10時ころから小型船が入港した。多くの船が昨年の初日を上回る量を積んで帰港した。

◆南三陸町志津川地区の敬老会が27日、南三陸ホテル観洋で開かれた。町は数え77歳以上の高齢者を対象に志津川、歌津、戸倉・入谷の3地区に分けて敬老会を開催している。

南三陸町はごみの減量化を目的に、指定ごみ袋に手数料を上乗せすることでごみの抑制、資源化を狙う。